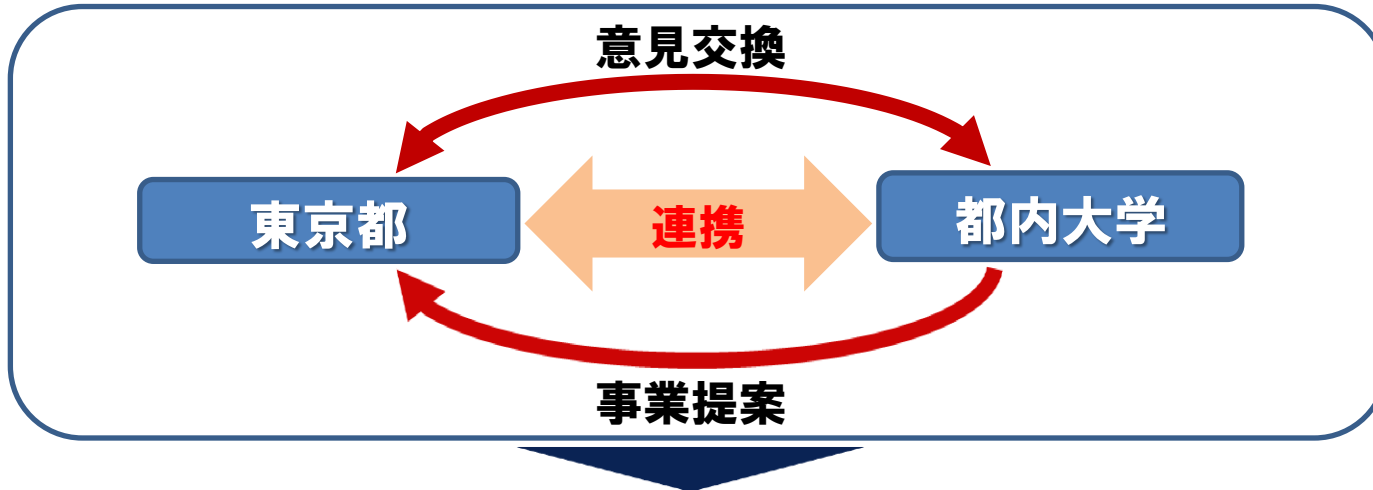


大学との政策連携

- 東京2020大会の成功とその後の東京の持続的な成長に向け、都内大学の知見や新たな発想と都政の政策とを結び付ける



「新しい東京」の実現をより確かなものへ

大学との定例懇談会

目的

- 東京都及び都内の大学が、今後の政策連携を視野に、**恒常的なコミュニケーションの場**を形成
- 東京の課題解決**や**東京の未来**、**国際競争力の向上等**について自由に意見交換

概要

参加大学	出席者	スケジュール
都内大学 10～20校程度	・学長・副学長等 ・知事、副知事等	年度内2～3回程度 【第1回】 8月上旬頃 開催予定

事業提案制度の更なる充実

第1弾

30年度
予算編成

✓ 都民による事業提案制度

提案件数：255件 得票件数：4,185件
予算案反映件数：9件 総額：8.5億円

✓ 職員による事業提案制度

提案件数：164件
予算案反映件数：15件 総額：2.1億円



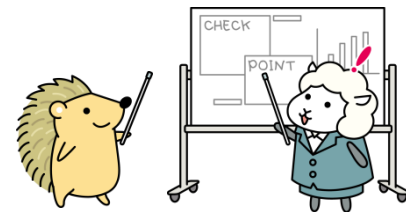
第2弾

31年度
予算編成

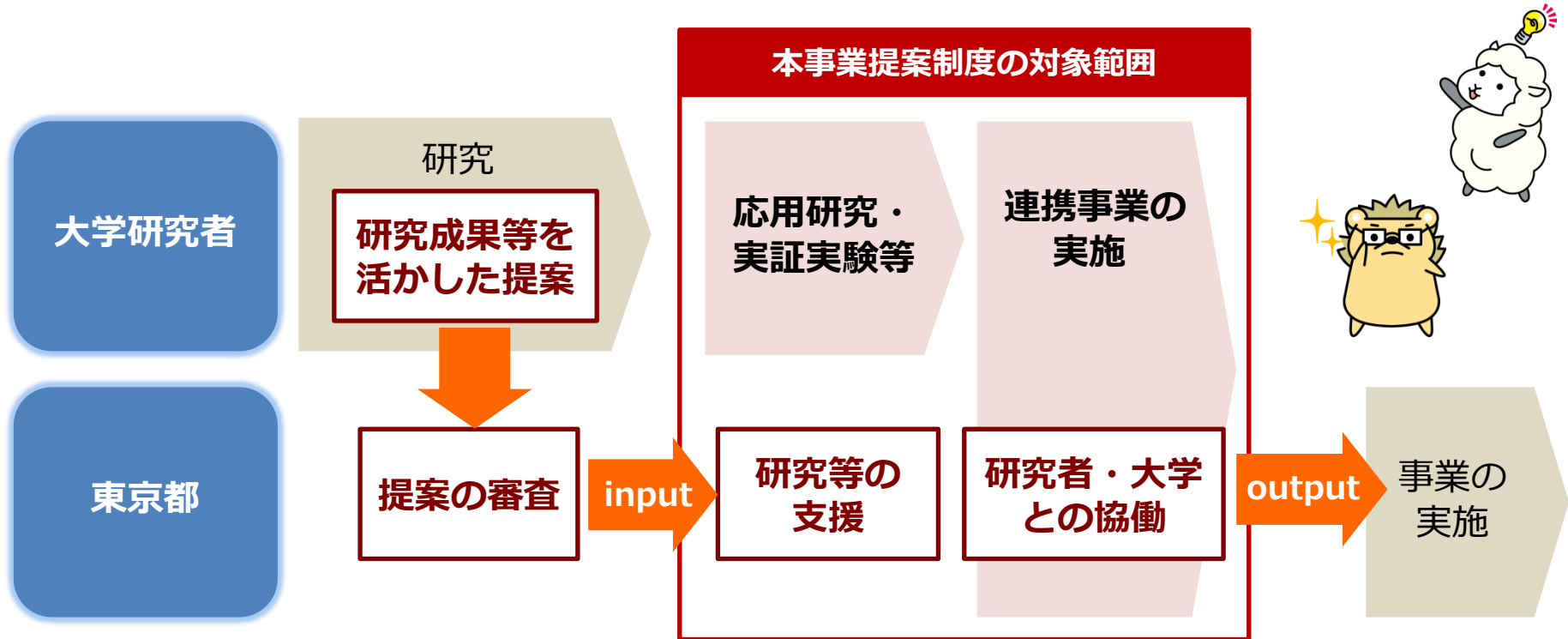
都内大学研究者から、研究成果・研究課題等を踏まえた提案事業を募り、研究者・大学と連携・協働して事業を創出する新たな仕組みを導入

NEW 都内大学研究者による事業提案制度

拡充 都民・職員による事業提案制度の充実



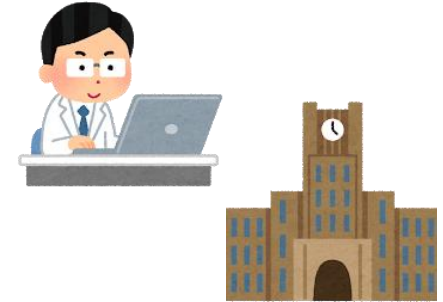
都内大学研究者による事業提案制度の概要 ①



都内大学研究者による事業提案制度の概要 ②

提案を募集する対象者

- ✓ **都内大学**（大学院や短大も含む）**に所属する研究者**
（複数の研究者による提案も可能）



東京都の支援内容

- ✓ **都が行政課題の解決のための事業を実施できることを条件とし、最大3年間の支援**を想定
- ✓ **原則2年以内**で、可能な限り早期に行政課題の解決へと繋げることができる提案を求める

① 研究者の研究・調査等の支援

⇒ **単年度3千万円**を上限に、都が大学に対して支援

② 都と研究者・大学との連携事業の実施

⇒ **単年度2億円**を上限に、都が実施

・今年度採択する提案の規模

⇒ **10億円程度**

都内大学研究者による事業提案制度の概要 ③

提案を募集する対象分野

- ✓ 防災力の向上、都市インフラの整備
- ✓ まちの元気創出、安全・安心の確保
- ✓ 少子・高齢化等を見据えた東京のまちづくり
- ✓ 医療が充実し健康に暮らせるまちづくり
- ✓ 環境先進都市・東京の実現
- ✓ 東京の経済活動・農林水産業の活性化
- ✓ 国際観光都市・東京の実現

求める提案の具体例

テーマ：高齢者の社会参加・いきがいつくりに関するモデル事業

既存の研究

- ・ 高齢者の社会参加
やいきがいつくり

1年目：研究者等への支援

- ・ 高齢者の生活実態調査の実施
- ・ 調査結果を踏まえた都への政策提言の作成

2年目：連携事業の実施

- ・ 政策提言を踏まえた
モデル事業を実施

都民による事業提案制度の充実

① 対象分野の拡充

31年度予算枠 10億円

✓ 都民目線の身近なアイデアの活用といった視点から、対象分野を10分野に拡大

- 子育て支援
- 高齡化対策
- 働き方改革
- 防災対策
- 空き家活用
- 環境対策

+ 4

- 女性が輝く社会づくり
- 起業・創業支援
- 観光振興
- まちの元気創出、ボランティアの推進

② 提案者の要件拡大

- ✓ 他県からの通勤・通学者を対象に追加
- ✓ 1人で複数提案を可能に

③ ユーザーインターフェースの向上

- ✓ スマートフォンやパソコン画面から、直接事業提案を行えるシステムを構築

今後のスケジュール

